

岩手県内の水稲の出穂状況（8月8日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

1 水稲の出穂状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- （1）8月8日現在の県全体の出穂割合は98%（平年差+5ポイント）となっており、平年よりも4日早く出穂終期（90%）に達したとみられます。
- （2）県内の水稲の出穂盛期（50%）は平年より3日早い8月1日頃となりました。

表 地帯別 水稲の出穂状況（各農業改良普及センター調べ）

地帯名	出穂割合（%）					出穂時期（月/日） ²⁾			平年差（日） ³⁾		
	本年	過年次同時期				始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
		平年	R5	R4	R3						
北上川上流	95	92	97	81	100	7/29	8/2	8/6	-2	-2	-2
北上川下流	99	94	99	82	99	7/29	8/1	8/4	-2	-2	-4
東 部	94	87	96	76	98	7/26	7/31	(8/6)	-6	-5	(-3)
北 部	98	89	98	88	100	7/27	7/30	8/2	-5	-5	-7
県 全 体 ¹⁾	98	93	98	82	99	7/29	8/1	(8/4)	-2	-3	(-4)

- 1) 県全体…地帯別の水稲作付面積比による加重平均。
- 2) 出穂時期…始期：10%、盛期：50%、終期：90% の水田で出穂した日。（ ）内は終期未到達の市町村を含むため推定値。
- 3) 平 年…平成26年～令和5年の10ヵ年の平均値。

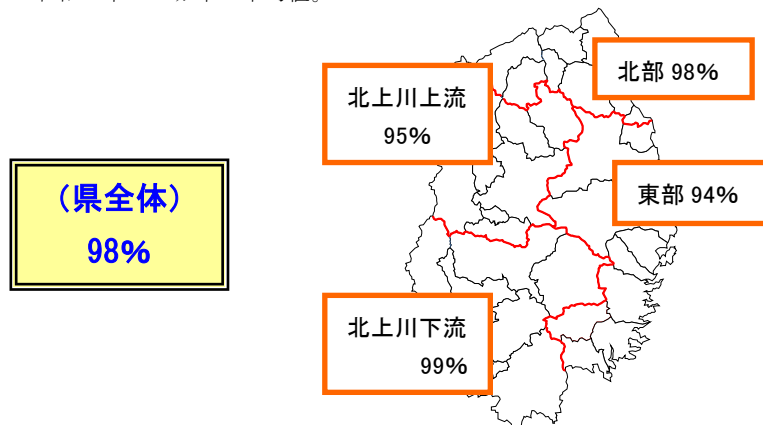


図 水稲の地帯別出穂割合（8月8日現在：各農業改良普及センター調べ）

2 当面の技術対策

台風5号が接近していますので、最新の気象情報に注意するとともに、事前・事後対策については「農作物技術情報 号外 台風対策（令和6年8月8日発行）」を参考にしてください。

- （1）水管理
登熟期は、間断かんがい（数日間隔で湛水・落水を繰り返す）とし、夜間入水を基本とします。
登熟前半は高温が予想されるため、水の入替え頻度を多くして根の活力維持を図ります。
早すぎる落水・過乾燥は、白未熟粒や胴割粒の増加等、品質低下につながるので避けます。
- （2）穂いもち防除
ほ場を観察し、上位葉に葉いもちの発生がみられる場合は、茎葉散布を実施します。
- （3）斑点米カメムシ防除
斑点米カメムシの発生量は「多」の見込みです^{1), 2)}。
穂揃期の1週間後の薬剤防除を徹底します。なお、地域一斉に防除すると効果が高まります。
- （4）適期刈取りの準備
高温により刈取り時期が早まることが予想されますので、適期刈取りに向けた準備を進めます。

参考1）令和6年度農作物病害虫発生予察情報 発生予察 第5号（8月予報）（岩手県病害虫防除所 2024.7.31）
2）令和6年度病害虫発生予察情報 注意報第2号（岩手県病害虫防除所 2024.7.31）